

令和2年8月定例会会議録

(令和2年8月17日)

八代市教育委員会

八代市教育委員会 8 月定例会会議録

- 【開催日】 令和2年8月17日（月）
- 【場所】 八代市千丁支所2階 庁議室
- 【出席者】 北岡 博 教育長
富田 壽人 教育委員
松永 松喜 教育委員
水田 千春 教育委員
奥村 留美子 教育委員
- 【出席職員】 宮田 径 教育部長
松岡 猛 教育部総括審議員兼次長
和久田 敬史 教育部次長
松川 由美 教育政策課長
高嶋 宏幸 学校教育課長
竹下 圭一郎 教育施設課長
岩崎 龍一 生涯学習課長
入佐 正夫 教育サポートセンター所長
松本 豊 教育政策課主幹兼学校管理係長
服部 拓生 教育政策課主幹兼学校給食係長
松島 元子 学校教育課主幹兼教育支援係長
寺本 直史 学校教育課指導主事兼学校保健係長
前田 博治 学校教育課指導主事
陣内 敬貴 学校教育課指導主事
五十嵐 誠 教育施設課長補佐兼建築係長
米田 明弘 教育施設課設備係長
山崎 摂 博物館未来の森ミュージアム副館長補佐兼学芸係長
久保 昌代 博物館未来の森ミュージアム主幹兼管理係長
早瀬 輝美 博物館未来の森ミュージアム上席参事
池田 光成 博物館未来の森ミュージアム参事
- 【事務局】 山本 雄二 教育政策課長補佐兼教育政策係長
西村 妙子 教育政策課参事
- 【審議事項】 <協議案件>
①協議第5号 教育に関する事務執行状況の点検・評価について

1. 開会 (午前9時28分 開会)

2. 教育長報告 前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告

3. 議題

北岡教育長

本日の議題の進め方について、協議第5号 教育に関する事務執行状況の点検・評価については、時間を要するため、まず、各課の連絡事項を行い、その後、協議第5号について協議を行いたい。

教育委員

全員異議なし

(議事一時中断)

4. 連絡事項

教育政策課 遊具塗装ボランティアについて、県学校給食会寄附について、氷川中学校組合について

学校教育課 坂本中・八竜小について、新型コロナウイルスについて

教育サポートセンター くま川教室の開級式について
事務局 9月定例会日程確認(9/29 14:00~)

(議事再開)

〈協議第5号〉教育に関する事務執行状況の点検・評価について

松川教育政策課長 資料により、点検・評価実施方法等について説明

●博物館施設整備事業

山崎博物館未来の
森ミュージアム副
館長補佐 点検・評価票により事業内容等について説明

松永教育委員 以前、大雨の際の湿度調整ができなかったというような話があったが、緊急なものが出てこないかと心配しているが、その点はどのくらい把握されているか。

山崎博物館未来の
森ミュージアム副
館長補佐 設備自体が老朽化して更新の時期を迎えているので、毎日の管理をしっかりとしながら、支障がないよう進めている。

松永教育委員 貴重な文化財を展示するので、破損などないように十分考えて計画を立ててもらいたい。

奥村教育委員 文化・歴史の象徴である博物館やスポーツなどは、くじけそうなときに心を支えてくれる貴重なポイントである。博物館をこれから市のどういう位置づけで、どんな存在であろうとしているのか。八代市全体の文化の拠点としてとらえられて、丁寧な説明で大規模改修工事を進めていただきたい。また、もっと親しみやすい館になるために、子供のころから、学校に通うのと同じように、自然と通える博物館であるといい。遠隔地の子供たちは行きにくいので、館の整備の際に、親しみやすい行きやすい博物館という要素も検討していただきたい。

富田教育委員 令和2年度に事前調査を行った段階で最も不具合があったのはどういうところだったか。

山崎博物館未来の 事前調査は今からだが、空調設備の老朽化、照明関係の LED
森ミュージアム副 化の対応が主なものである。
館長補佐

●博物館特別展覧会事業

山崎博物館未来の 点検・評価票により事業内容等について説明
森ミュージアム副
館長補佐

奥村教育委員 関連団体や学校現場との連携を図るとあるが、学校現場とのつながりは具体的にどういうことをされているのか。

山崎博物館未来の 小学3年生で昔の道具を学ぶという項目があり、施設見学が
森ミュージアム副 行われる。その他美術展、工作展、書道展等で年間2,000
館長補佐 人から4,000人の小学生の入館がある。また、展覧会の体験講座等のチラシ配布や宿題や授業と連携した展覧会の開催、各展覧会の会場に子供用のワークシートを置くなどの取組を行っている。

富田教育委員 展示物もポスターも各特別展は素晴らしい企画だと思っている。開催される際は、市民の声を反映させていく方法もあるのではないか。子供たちのワークシートも各特別展に合わせて、体を動かして何かを作るなどをすると子供たちのたくさん

の参加があるのではないかと。

水田教育委員 チラシは、小学校、中学校以外には、どこに配布されているか。

山崎博物館未来の 市内の公共機関・公共施設、県内の美術館・博物館・図書館、
森ミュージアム副 県外の主な美術館に配布している。内容によってはギャラリー
館長補佐 一、画廊、茶道関係、お寺関係などにも配布している。また、
町内の掲示板用に市政協力員にも配布している。

水田教育委員 高校から八代を出るといふ子供が多いが、そういう子供たち
に見てもらいたいという展示も多いので、その世代も取り込んで
いけたらいいなと思う。

山崎博物館未来の 入館者も高校生の数が少ないので、見てもらえる工夫にも取
森ミュージアム副 り組んでいきたい。
館長補佐

水田教育委員 八代工業のインテリア科などは、学びにつながるのではない
かと思った。

奥村教育委員 小学生の利用について、文化の享受という点で幅広く感じ取
ってもらいたい。博物館も八代の史跡もすばらしいが地元の人
が知らないということもある。八代市は地形的に広範囲である
ため、知ってもらおうという観点から、遠隔地を対象に数年に一
回でもいいので、出前出張博物館的なもので、八代市のすみず
みまでいきわたるようにしてもらいたい。チラシの配布もいい
が、学芸員の人柄は魅力的だと思うので、人にふれるというの
もいいと思う。

●不登校児童生徒の適応指導事業

入佐教育サポート 点検・評価票により事業内容等について説明
センター所長

奥村教育委員 自己評価の部分が未達成となっているが、評価の対象となる
子供の数が少なく、一人一人が特別な状況を持っている中で、
学校と連携しながら関わられているので、目標どおりに学校復
帰ができなくても、取組状況とその後の子供たちの心の変容と
いう点では大きな成果になっていると思う。この自己評価の表

し方はサポートセンターにとっては厳しいと感じる。文字や数字だけではないところもしっかり説明して行ってほしい。また、人の力が大きく活躍するところであり、不登校・適応指導の中心であるので、直接的な生徒への対応に加えて相談したいと思う先生や保護者も多いと思うので、相談機能を持ち出すことができるよう施設面の拡充をお願いしたい。

富田教育委員　くま川教室は子供たちに柔軟な対応ができています。保護者会でも安心して預けられるとあった。改革・改善として、少ない人数なので、子供たちが次の進路を選んだときにその後どのように歩んでいるか追跡調査をお願いしたい。先輩の後を追って、それを目標として頑張ろうという生徒や相談員になりたいと大学に進んだ生徒もいた。情報がないと子供たちもわからないので、資料として蓄えておくことが必要だと思う。

水田教育委員　施設に小学生が見学に来られると聞いている。見学者の人数、入級を希望されたが断った数など把握されていれば、教えてもらいたい。

入佐教育サポートセンター所長　令和元年度分の具体的数字はない。小学生が2人見学に来られ、そのうち1人が数回通ったと聞いている。

松永教育委員　市による実施で規模拡充とあるが、小学生がもし入ってきたらいろいろな指導やカリキュラム作成などで人員が不足することが考えられる。ぜひ、拡充の方向をはっきり出し、必要だということをアピールしてもらおうと応援もできる。今後こうしたいではなく、こうしますと言っているのではないか。いろいろな人達に対応しないと1人の専門職では対応できない可能性が多い子供たちも増えているので、強く訴えてもらいたい。

奥村教育委員　学ぶ保障に関しては、学校だけが学びの場ではなく、これからは多様性の中で、学ぶ場の準備や確保も必要であるので拡充で進めていただきたい。保護者と先生が慎重に相談してくま川教室を選んでいる。小学校のとき不登校だったのが、中学校でくま川教室を知って、外に出るきっかけになった子供の話を聞いたことがある。小学校時代の学校に行けない状況が中学校まで続くので、小学校の時代に学校と連携して、学校以外の学びの場というのもそろそろ必要な時期ではないかと感じている。ぜひ検討をお願いしたい。

●子ども支援相談事業

入佐教育サポートセンター所長 点検・評価票により事業内容等について説明

奥村教育委員 以前身近に仕事をしていたが、だれに相談していいかわからず、学校の先生に相談できない方が来られ、相談員はそれを受け止めて心をほぐすという大切な仕事をされている。必要な経費は賃金だけとなっているが、実際には、デリケートな課題に対応するため、いろいろなところに出向いて話を聞いたり、本を読んだりして自らのスキルアップをされている。また、保護者が小さな子供を連れてこられると、おもちゃや本をあてがったりしている。活動経費として、経費に配慮があればと思う。また、相談事業は、土日に緊急対応されたりもしていたということをお知らせしたい。

富田教育委員 相談実績の479件の内訳は分析されているか。

入佐教育サポートセンター所長 ①不登校についての相談301件 ②子育てに関する相談213件 ③友人関係（いじめ含む）111件 ④子供の困り感、我が子の発達や障害に関する相談80件 ⑤就学進路に関する相談29件であった。

水田教育委員 今年度は、コロナの影響があると思うが、現在どのくらいの相談があっているか。

入佐教育サポートセンター所長 学校が開いているときの相談が多いため、学校が再開された6月1日以降から動きが出ている。7月末現在で68件の相談があり、保護者から40件、子供から7件、教職員11件である。内容は、不登校、登校しぶりを含めて46件、子育てに関する相談50件、子供の困り感29件、就学進路16件となっている。

北岡教育長 479件は、延べ件数であると思う。相談があってもすぐに解決というわけではなく、何度も相談に来られていると思うが、令和元年度の新規相談件数はどのくらいか。

入佐教育サポートセンター所長 新規の件数は、把握していない。同じ方が何度も引き続き相談されるというものは、昨年度から引き続き、2、3年連続という方もおられる。新規の方もおられる。

活動指標等に出す必要ないが、新規で何件かは、掴んでおきたい。

●小中学校 I C T 支援員事業

高嶋学校教育課長 点検・評価票により事業内容等について説明

水田教育委員 1人1台の端末が実現するというので、コロナウイルスなどで休校となった場合の対応もできていくと思うが、もしタブレットを児童生徒が家庭に持ち帰ったときに、タブレットだけで使用できるのか、家のネット環境を使わないといけないのか。

高嶋学校教育課長 今のところはタブレットだけの整備なので、持ち帰っても家庭のネット環境を活用することになる。今度、国の方策等出てくれば、家庭のネット環境ではなく、他を使用できたらと考えている。

陣内学校教育課指導主事 学校でダウンロードして、持ち帰るとオフライン環境でも活用できるドリルソフトが入る予定である。学校でネットワークに接続すると学習状況がサーバーに保存されているため、個人の頑張ったところやクラス全体のひっかかりなどが一目でわかるようになっており、授業でも活用することができる。

水田教育委員 家庭で使えることになるとネットの悪い部分を使えないようにするというところも考えてあるのか。

陣内学校教育課指導主事 情報政策課、教育政策課、ICT サポートスクエアと協議しながら、本年度中に、ルール作りを進めないといけないと検討をしているところである。併せて持ち帰り方のルールについても原案ができたところなので今から詰めていく。

奥村教育委員 成果指標の①に「児童生徒の ICT 活用を指導する能力」とあるが、以前は「ICT を効果的に活用して授業ができるか」というアンケートがあった。ICT 活用、ICT 活用を指導する能力の言葉の使い分けを教えてほしい。

高嶋学校教育課長 とらえかた、言葉によっても違う。ICT 活用を指導する能力は、授業で使ったり、調べ物をさせたり、子供たちにこういう使い方をするんだという授業で指導できる能力と考えている。

陣内学校教育課
指導主事 毎年度末に文科省からの ICT 活用指導力チェックリストがあり、5項目のうちの1つに児童生徒の活用と書いてあった。今までは児童生徒の活用については、インターネット、本を使って情報を活用することができるという書き方であったが、平成30年度のアンケートから子供たちにそれができるように指導するというのが明確に示されたため、先生方も30年度からそのようにしなければならないと意識があったと思う。また、今までは、内容もとりあえずできればいいということだったが、調べたことを自分なりに取捨選択して相手にわかりやすく提示する、説明をするというところまで踏み込まれている。単純に平成30年度前のアンケートとそれ以後のアンケートをグラフにして比べると、求められているものが高いレベルになっているため、下がっている。文言としても新たなとらえ方で、先生たちに伝えていかなければいけないし、その視点で指導助言をしていく必要がある。

富田教育委員 便利な面の反対には問題点がある。直接先生と黒板を見ているのと、小さな画面で見ているのでは違うと思う。思い切って質問できないなど負の面の分析はされているか。わかっているらば教えてほしい。

高嶋学校教育課長 個に応じた学習ができる ICT のいい部分と直接的なやりとりができないのではという負の部分がある。本人たちの意見のやりとりは教師が画面で子供たちの状況を把握しながらつないでいくということで負の部分を改善していかないといけないと考えている。

陣内学校教育課
指導主事 いろんな種類のソフトがあるが、あるソフトを使うと子供たち同士で勝手にグループを作れて、グループに入れる入れないということが起こっている。そういうことが勝手にできず、そのようなことが起こらないよう教師が把握できるようなソフトやアプリでの環境づくりが重要ということで、情報政策課、教育政策課、ICT サポートスクエアからアドバイスをもらいながら進めている。また、遠隔授業の良さは、お互いの関係性が高い時に発揮される。学校教育課では学級経営をきちんとすることと、働きかけがきちんとされている取組はオンラインでもオフラインでもとても有効であるのでそういう取組を推進していこうと文書発出している。

奥村教育委員 今年度も研究推進校はあるのか。

高嶋学校教育課長 有佐小学校が推進校となっている。

●小中一貫・連携教育推進事業

水田教育委員 生きる力の育成を図るとあるが、今の子供たちが生きることに対して執着がないというか、有名人の自殺があるように私たち大人にしてみたら当たり前のことがちょっと抜けかけていると考えている。何があっても生き抜くということを先生方が常日頃子供にしつこく言ってほしい。価値があるから生きるのではなく、生き抜くことに価値があると聞いたことがある。自分に何かあったとき、夢が破れたときなど、何があっても生き抜くんだという視点を教えていただくとありがたい。

高嶋学校教育課長 命は尊いもので何にも代えられない。日常の中で話していくことを校長会など通じて話していく。自己肯定感が高くない。自分は存在自体に意義があるんだと自分を肯定する力を高めるということが必要なので、授業を改善してわかる授業、学校が楽しいという風にしていかないといけないと思う。

水田教育委員 本来家庭で教えることであるが、抜けている家庭も増えてきていると思うので、先生たちに求めている。大事にされているということを少しでも伝えてもらいたい。

富田教育委員 最近の先生は子供とよく話せないということ聞いた。特に若い先生は、子供と話す姿がなく、不登校になったとしてもよくわからない状況に陥っているのではないだろうか。小中一貫連携教育では子供に目が届いている、対応しているという姿が本当はないといけないのではないか。授業は楽しい授業、魅了ある授業は大切だが、先生たちの生の体験を所々で話していくと印象に残って、何かの糧になっていくのではないか。

高嶋学校教育課長 1人1人を見つめる、しっかり状況を見ておく。十分話ができていればいいのだが。

松永教育委員 中1の不登校が増えている。小中一貫となれば、早期発見・早期対応、小中の連携もできているはずなのに数字だけ見るとなぜか。具体的にはどういう対応をされているのか。

高嶋学校教育課長 早期発見のためには、アンケートを実施し、欠席が1日目は電話、2日目は家庭訪問、3日目はチームで対応するが生活の

リズムが乱れている。朝起きれないなど小学校のうちは、保護者が連れてくるが、中学校になるとそれもできなくなる。そういうことへの対応に苦慮している。早期対応はしているが、生活の乱れというものにどう手を打っていいかが一番の課題である。

松永教育委員 兄弟が多いとかはないのか。

高嶋学校教育課長 兄弟の多い少ないは余り関係ない。一例だが、兄弟がいて、中学生の兄は行かなくなって、小学生の弟は行っている。小学生が中学生になると行かなくなるということはある。先生たちは電話もするし、家庭訪問もするが、休み始めたときには根っこが出来上がっている。その前の段階でどうするかを話し合っているところである。

北岡教育長 中1になって突如現れたのか、小6のときに既に傾向が見られたのか。兄弟がいて、小学生のうちは登校しぶりがあり、中学生になったら、兄と同じ状況になるなど、比較して数を出しておくとの継続的なものがわかると思う。中学生になって突如であれば、何か原因があるだろうが、その前からであれば、学校だけでは難しいと思う。

高嶋学校教育課長 小学校のうちは、欠席はしなくても、遅刻してくるということがある。

前田学校教育課指導主事 小6の時不登校だった子が16人、その子たちが中1になったときに48人。30人ほど新規で不登校になっている。

北岡教育長 その新規30人が小学校のときどうだったのか。不登校にカウントする基準があるので、基準に1日でも足りなければカウントされないというグレーなところにあるのであれば、継続的なものであるし、全く休んでいないのに、不登校になったというのものもある。具体的に何ができるかは別にしても、そういうところを掴んでおく必要があると思う。

奥村教育委員 QUテストの実施対象学年と、実施後の活用、ハイパーQUテストなのか、QUテストなのかを教えてもらいたい。子供と話せない教師が出てきているという話があったが、いろんな検査があることで、子供をデータとして見ていて、話したいけど話すまでに至らないという状況があるのではないかと。データ活用は

基礎としてとても大事だが、実施して活用するだけでなく、かつては人と人が絡み合っていて、子供理解につなげていた部分があって、教員同士、保護者と交流できたらいいいのではないか。データの活用とデータ主義に陥らないということが子供理解を進める上で大事なのではないか。

前田学校教育課
指導主事

QUテストは、中1全部で実施しており、学校によっては2年、3年生でも実施している。実施後は結果をもとに校内研修で、生徒理解に活用している。集団作り、その子にどのような支援が必要かどうか全体で共有した後、各学年で協議につなげている。

●学校体育振興事業（小学校）

高嶋学校教育課長

点検・評価票により事業内容等について説明

松永教育委員

県は予算を削っていると聞いている。市長はスポーツによるまちづくりの中でトップアスリート育成事業をされている。各競技団体の協力を得ながら、小学校、中学校、高校、一般と連携ができており、また国際大会で通用する選手を八代から育成しようという指導者も指導力アップを図ろうという機運になっている。小体連がなくなるとスポーツ育成の底辺が壊れてしまう。スポーツ王国八代がなくなってしまうので、継続は心強い。体育協会の計画もスムーズにいくのではないかと思う。

北岡教育長

大会新記録数を成果指標にするのは厳しいのではないか。新記録を出すのは、限られた選手がその日の天候やコンディションによるもので、毎年簡単に生まれるものではないと思う。

松永教育委員

最近、陸上をする子供は少ない。能力はあっても別の競技をしているため、出てこない。指導の先生に発掘して出してほしいというが、陸上部じゃないから出ないと保護者もそういう考えである。根本的に走ることは基本であるので、そこに戻って指導してもらい、元気な子供を作ってもらいたい。新記録を出す力を持っている子が出てないのを見て、もったいないことだと思う。

富田教育委員

コロナウイルスの影響で、以前は近くの公園で陸上の練習がされているのを見ていたが、今は全くない。体力が落ちていくのではと思うが、何か対策はあるか。

高嶋学校教育課長 休校期間中は、簡単なできることをとっていたが、集まって運動をするということができない状況にある。小体連では縄跳び運動を取り入れていこうとしている。そういうことで体力維持ができたらと思う。

奥村教育委員 成果指標①の体力状況の県平均を上回る項目数が、目標に対して低くなっている。子供たちの群れる・遊ぶという日常生活が減ってきているせいか。個々の力を掘り起こす起爆剤は体育の授業や体育的活動にあるのではないだろうか。

北岡教育長 県平均を超える項目が少しでも増えるように、基礎体力の部分が大事だと思う。基礎があれば、いろんな競技に対応できる。運動をやっている子とやっていない子で二極化しているが運動をやっていない子をどう引き上げるかは、学校の体育授業などが役割を担っていると思う。一流アスリートにはならなくても、体力がつくことで健康増進につながると思う。

●校務支援推進事業

高嶋学校教育課長 点検・評価票により事業内容等について説明

奥村教育委員 業務の中で、電子化されると助かると思うが中には、数字管理だけではない業務もあると思う。最後は先生たちが、周囲の先生たちと話し合っ進めないといけないと思う。また、外部文書の処理と対応はどうなるのか。さらに、事務事業の自己評価の中に、スズキ校務、グループウエアミライムとあるが、どんなものになるのか。これが稼働することによって、来年度の全実施に向けてどう変わっていくのか。実際に先生たちがどのくらいの時間が短縮できるのか想定されているものがあれば、教えていただきたい。

高嶋学校教育課長 学校は、集まって話し合いをするという、情報共有の時間の確保が難しい。グループウエアミライムには掲示板というのがある、その情報をみんなが見ることで基本的な部分の情報共有ができる。それをもとに、深く、細かい部分について、先生たちが集まって詰めていく。外部文書の処理については、昨年と似た書類が来ると昨年の状況と比較し、いろいろな先生に回答してもらう必要がある調査物は、グループウエアミライムに載せておくと、回していた時間が不要になる。スズキ校務というのは、成績処理・出席管理をするものである。グループウエ

アミライムは先生たちの情報管理、情報交換の場、在校時間の記録をしていくものである。短縮する時間数がどれだけかは、一応予定としては、45時間以下を30%以下にできるのではないかと考えている。

陣内学校教育課
指導主事 日々の仕事で言えば、出席簿を付けたりと2、3分であるが指導要録については、入力が進んでいるので、手書きのときは、3、4日かかっていたものが日々積み重ねている分、最終的なまとめでは印刷5分で済む。出席関係についても毎日入力されているため、一覧で出席状況を見ることができ、担任に聞かなくても不登校対策に活用できるということを学校に伝えている。

奥村教育委員 支援ソフトのおかげで時間が減ったところに、新たな仕事が増えないように、子供に向けられるようお願いしたい。子供たちを対象にしているので、効率化だけでは物差しを当てられないところもある。子供たちの生きる力を育むために効果的に達成できたらと思う。いろいろな成績処理、要録がシステム化されると、指導までシステム化されて、先生たちの特性や個性が反映されないということにならないようにしてもらいたい。学校から人の営みがなくなると子供が育ちにくい。学校教育課でも指導を細やかにしてもらいたい。

富田教育委員 新しい仕事改革の導入がある。現在の状況と導入されてどう変わったか知らせてもらいたい。

北岡教育長 多額の子算をかけて導入するので、有効に活用し、先生方の負担も軽減される。そのことにより、先生方が子供たちのために時間を有効に使えることが目標である。

〈休憩〉

議事再開（午後0時58分）

●学校・家庭・地域の連携協力推進事業

岩崎生涯学習課長 点検・評価票により事業内容等について説明

松永教育委員 児童生徒はいくらか負担しているのか。また、ボランティア数が増えているが、無償なのか。

岩崎生涯学習課長 児童生徒の負担はない。地域のボランティアの方も無償で協力していただいている。放課後子供教室のサポーターの方へは謝礼が払われている。

富田教育委員 地域未来塾に参加する生徒は、同じ生徒が来るのか、入れ替わっているのか。参加人数の状況がわかるか。

岩崎生涯学習課長 定員が決まっているので、同じ生徒が学んでいる。

奥村教育委員 事業を実施していない12校が参入する見込みはあるのか。

岩崎生涯学習課長 学校訪問やヒアリングを行い、校長先生の話聞いて進めていく。先生方が必要でないと言われる場合は無理強いできない。

奥村教育委員 この12校は、事業に無関心、事業が不必要というわけではなく、先立つ、学校課題があるからという気持ちがあるのではないか。その辺を含めて細かに学校の気持ちを聞いてもらい、今後完全実施されるコミュニティスクールの基盤となっていくということを丁寧に説明してもらいたい。

岩崎生涯学習課長 財源の内訳としては、1/2、1/2で県は予算を組んでいると思う。

奥村教育委員 これだけ国の補助があるが、ボランティアの方は無償である。予算は何に使われているのか。

岩崎生涯学習課長 ほとんどが、地域コーディネーターの謝礼である。

奥村教育委員 ボランティアの方の安全保障はどうなっているのか？

岩崎生涯学習課長 ボランティア保険はかけている。

奥村教育委員 教育の中心は学校ではなく、学校は地域の一部であるということこの事業が作り出されたと思う。3つの事業の実施対象校が限定的である気がする。放課後子供教室は、学童設置が困難な地域が対象であると聞いたが地域学校協働活動事業と地域未来塾に関しては、より多くの地域で導入してもらって、地域の目で子供たちを育ててもらおうと安全管理にもつながっていく。国県予算からの満額助成は、実績に対して交付されるの

か。

岩崎生涯学習課長 令和2年度の学校数や本部設置など体制整備について交付申請の段階で示して、内示額をもらっている。カバー率が100%になると多くの補助が得られると思う。

奥村教育委員 校長が代わると学校課題の優先順位も変わるので、前年度準備していても、変更になることもある。そのつなぎ目は、担当の方が熱意をもって継続をお願いしたい。

水田教育委員 ボランティアの方に少しでもいいので謝礼を出してもらいたい。無理であるなら、感謝状などがあると気持ちが違いモチベーションも上がると思う。

奥村教育委員 コミュニティスクールに関係する地域の方には、謝礼はあるのか。

岩崎生涯学習課長 コミュニティスクールの方はある。

奥村教育委員 大抵、地域人材は同じ人であるので、安全確保と何らかの事業結果のモチベーションがあるといいかなと思う。

●図書館管理運営事業

岩崎生涯学習課長 点検・評価票により事業内容等について説明

奥村教育委員 移動図書館というのは、具体的にどのような活動なのか。

岩崎生涯学習課長 ともだち号という移動図書館専用の車で、決まった地域を毎月巡回し、本の貸出し等を行っている。

奥村教育委員 八代市は広域であるため、図書館に気軽に行けない地域の方もおられると思う。活動範囲に期待をしている。泉地域は入っているか。

岩崎生涯学習課長 泉地域にも巡回している。後ほど、巡回表をお持ちする。

松永教育委員 休館日の変更は、次の年末年始からだったと思うが、このコロナウイルス感染に関しての開館状況については何か苦情等なかったか。

岩崎生涯学習課長 ほとんどなかった。電子図書館が10倍に増えるなど、活用
いただいたからかもしれない。

松永教育委員 生涯学習課の広報のおかげだと思う。

富田教育委員 図書館をよく利用しているが、指定管理者の工夫改善があ
り、入りやすくなったと感じる。とても頑張っていると思う。

●社会教育センター管理事業

岩崎生涯学習課長 点検・評価票により事業内容等について説明

松永教育委員 学校跡地であるため、豪雨の影響なかったかと思うが、どう
か。

岩崎生涯学習課長 低いところのグラウンドに水が入ったり、古いところは雨漏
りがしたりというのはあったが、大きな建物の被害はなかつ
た。

富田教育委員 施設の利用について高齢化が進むとそこに集まって色々や
るということに問題点はないか。

岩崎生涯学習課長 建物を使って何かをするというのは少なく、時々保育園がグ
ラウンドや体育館を使っている。場所によっては、体育館が使
えないため、活動は限られていて、グラウンドゴルフが圧倒的
に多い。

奥村教育委員 地域の避難場所が八童小に一本化されているが、田上社会教
育センターに集約されていくということは、大きな地域の施設
がなくなる。避難場所の確保とのジレンマはないか。

岩崎生涯学習課長 まだ方向性がはっきりしていない、廃止の方向かもしれない
が、避難所的なところになっているところは、危機管理課を含
めて検討していく必要がある。

松永教育委員 建物に水害の被害はないが、そこまで行く道路が使えない。

●赤星公園管理事業

岩崎生涯学習課長 点検・評価票により事業内容等について説明

松永教育委員 余り知られていないので、PRをしてもらいたいが駐車場が限られていて、路上駐車等されるのも困る。花はとてもきれいである。部屋の使用料が時間は無制限で50円というのは安いので、見直した方がいいのではないかな。

富田教育委員 図書館の研修室の利用は、コロナウイルスの関係で1時間の利用制限がある。公的な施設には、利用制限が必要だと思う。

水田教育委員 初めて知ったので、趣のある建物なのかなと思う。お母さんたちのコミュニケーションの場に使いたり、マルシェとかに使ったりできるのではないかな。SNSを利用して広報されるといいのではないかな。

富田教育委員 駐車場は何台分ぐらいあるのか。

岩崎生涯学習課長 20台くらいは止められると思う。

松永教育委員 地元の高齢者の利用が多い。

岩崎生涯学習課長 囲碁や俳句、ヨガでも利用されているが、収入としてはほとんど上がらない。

奥村教育委員 社会教育施設としての体裁がないと市の施設としての存続が危ぶまれるのであれば、広報・PRしたらどうか。使用料も見直したらどうだろうか。

●廃校施設管理事業

竹下教育施設課長 点検・評価票により事業内容等について説明

富田教育委員 令和2年度に点検等実施回数が増えている理由は何かな。

竹下教育施設課長 鏡西部小学校が廃校になった分が増えている。

奥村教育委員 市内の廃校になっている施設の旧泉第三小学校は跡地利用あるのか。

竹下教育施設課長 旧泉第三小学校は、福祉施設が借りている。

五十嵐教育施設課 今年度から借りていて、改修工事をされると聞いている。利

長補佐兼建築係長 用者は入っていない。最初の数年は無償と聞いている。

竹下教育施設課長 資産経営課が貸し出しをしているが、管理の部分で工事等があれば、作業をすることもある。

松永教育委員 旧泉第三小学校の入り口の橋が老朽化しているし、合併前は橋は通られない状態となり、体育館が浸かったこともある。貸出しの担当課ではないだろうが、利用される方には説明をしていた方がいいと思う。

竹下教育施設課長 資産経営課に情報共有したいと思う。

●学校等施設整備事業

竹下教育施設課長 点検・評価票により事業内容等について説明

水田教育委員 学校訪問のときにはがれた壁紙、さびた手すりなど見かけると、施設が古いことに加え、掃除も行き届いてない感じになり、学校が何となく落ち着いていないと感じる。改修や掃除が行き届いていると子供たちも先生たちも落ち着いている。先生たちにとっても職場環境であるので、子供と先生らの精神衛生上、改修の対象にしてもらいたい。今後災害も増えてくると防災対策避難所としても八代市そろって、学校を大事にしてもらうということを大きく言ってもらいたい。

奥村教育委員 教室、学校というしつらえがしっかりしているとそれだけで子供たちは安心して過ごすことができる。手当、整備をしていくとそれを感じて先生たちが安心して子供たちを指導できる。改修はとても大事なところを担っている。古くても磨き上げていってもらえるようにしてもらおうと子供や先生たちハリがでてくると思う。

●小・中・幼空調設備設置事業

竹下教育施設課長 点検・評価票により事業内容等について説明

松永教育委員 皆さんの頑張りにより、工事が完了したと報告があった。残りの特別教室の設置について学校側からの要望などの調査はされているのか。そういう要望があったら設置するのかをうかがいたい。

竹下教育施設課長 特別教室については、理科室など授業が多いところは昨年度設置している。生徒数が多く、特別教室の使用が多いところから要望が上がってきているので内部で協議し、必要性を検討して財政と協議しながら要望に応えられればと考えている。

松永教育委員 ぜひ頑張ってもらいたい。

水田教育委員 避難所としての機能を果たすという意味でも設置されていた方がいい。特別教室の方が、市民を通しやすいかと思う。支援学校の陶芸をする部屋は暑そうである。暑さに弱い子もいると思うので、早急につけてもらいたいと思ったところである。

富田教育委員 子供たちはクーラーが入って勉強できると言っていた。特別教室にも設置してもらったらいいと思う。

奥村教育委員 同じ気持ちである。

●学校等ブロック塀改修事業

竹下教育施設課長 点検・評価票により事業内容等について説明

奥村教育委員 改修工事がなかった13校については、工事の必要性や不具合がなかったということか。

竹下教育施設課長 調査をしたが、大丈夫だったところである。

●パソコン教育推進事業

松川教育政策課長 点検・評価票により事業内容等について説明

奥村教育委員 電子黒板の令和2年度の計画313台は、新たに導入するのか。

松川教育政策課長 各普通教室に1台という国の指標に合わせて数字を記載している。

奥村教育委員 必要な台数が313台ということだが、整備の見通しはできているのか。

松川教育政策課長 国の指標がなくなってしまったので、増やす予定はない。中学校は、各教室に入っている。

奥村教育委員 可能な限り補助金等を利用するということだが、国の補助金か。八代市の必要な額に対して補助金が出ない分は市の予算ということは難しいのか。

松川教育政策課長 国の臨時交付金を活用して、今年度は端末を8000台近く整備することになっている。ルーターなどの周辺機器について補助メニューがないものもあるので、国へ要望を出しており、補助できるようになることもあるので、アンテナを張って対応できるようにしたい。

奥村教育委員 関連して、施設設備面で、固めていくとき、タブレットのソフトの問題、職員のリテラシーのための研修など関係課と話しながら、全てにおいて、安定的な供給・施設拡充をお願いしたい。

水田教育委員 G I G Aスクールサポーターは、何人ぐらいか。

松川教育政策課長 2校に1人と決まっている。今年予算は、6人であるがG I G Aスクール構想に限って、半年だけとなっている。I C T支援員とは違うが、この半年間は連携をとりながら、学校の先生たちへのアドバイス、授業展開をお手伝いできるようにしたいと思う。

水田教育委員 ネット環境の調子が悪いと先生がそっちにとられ先生たちのプラスアルファの仕事が増えて、何のためのパソコンかわからなくなる。サポーターは常に必要なんじゃないかと思う。ぜひその辺を考えてもらいたい。

奥村教育委員 汎用度の高い知識とスキルを持っている方でないと、わかる先生任せになったら、他では通用しないこともある。市としてI C T環境を作るということを進めてもらうと学校はとても助かると思う。G I G AスクールサポーターとI C T支援員の業務内容は違うのか。

松川教育政策課長 I C T支援員は先生のサポート的な部分で、G I G Aスクールサポーターは1人1台の納品のときから計画を立てて、ソフトよりはハード面寄りのサポートになる。マニュアルの作成なども業務内容にある。

●学校通学関係事業

- 松川教育政策課長 点検・評価票により事業内容等について説明
- 松永教育委員 7月豪雨でスクールバスやJRで通学していた子の分として、スクールバスの委託業務の変更が出てくるのではないか。
- 松川教育政策課長 八竜小のスクールバスの業者と協議を行い、ルートが変わり、経費はそのままに対応させてもらっている。3ルート6台である。
- 松永教育委員 JRで通学していた子も含まれているか。
- 松川教育政策課長 避難所や親せき宅等に避難している子供たち皆さんを学校まで届けている。
- 北岡教育長 転校していなければ、全員を届けている。
- 松永教育委員 八竜・坂中の児童生徒は、減っていないのか。
- 松本教育政策課主幹兼学校管理係長 熊本市に1名、植柳小に1名転校している。

●準要保護就学援助事業

- 松川教育政策課長 点検・評価票により事業内容等について説明
- 富田教育委員 生活保護を受けている人の給食費の未納があるか。
- 服部教育政策課主幹兼学校給食係長 準要保護の給食費の未納率は0である。

●八代市学校・子ども教育応援基金事業

- 松川教育政策課長 点検・評価票により事業内容等について説明
- 奥村教育委員 寄附金額が30年度から1/6になっている。広報活動に反省点を置かれているが、なぜ減っているか分析されているかを説明してもらいたい。おかげで、こんなことができたというよう

な返しがあれば寄附募集に効果があるのではないか。

松川教育政策課長 実績については、市報に掲載しているが、具体的には、紙面的にも限られるため十分できてないというのもある。寄附金の限られた使途についても周知を図りたい。30年度は企業から多額の寄附があっているため、そのようになっているが、目標は達成できるようにしたい。

水田教育委員 SNSで企業の寄附があったら、一言企業名を出して、子供たちの笑顔の写真など載せると宣伝効果があると思う。寄附を試みようかという気持ちを沸かせる工夫があるといいと思うので、活用の検討をお願いします。

富田教育委員 子供たちのこういうところに役立っていると、もっとアピールしたらいいのではないか。

松川教育政策課長 どれだけ寄附金を使ったかという数字だけでなく、学校や授業の状況をもう少し周知する。

松永教育委員 皆さんと同様で、広報など、ぜひ宣伝してもらいたい。

5. 会議録署名委員 奥村委員・水田委員
の指名

6. 閉会 (午後3時25分 閉会)

令和 年 月 日

署名委員

記録者
